

事業所名	グループホーム西大寺あゆみホーム (クリックすると事業者の情報にリンクします)
日付	平成21年 3月31日
評価機関名	㈱東京リーガルマインド (クリックすると評価機関の情報にリンクします)
評価調査員	A:現職 介護保険施設勤務 資格・経験 社会福祉士、介護福祉士、介護支援専門員、難病患者等ホームヘルパー B:現職 高等学校非常勤講師、訪問指導員 資格・経験 看護師、社会福祉士、福祉住環境コーディネーター、健康生きがいづくりアドバイザー
自主評価結果を見る	(事業者の自主評価結果にリンクします)
評価項目の内容を見る	(評価項目にリンクします)
事業者のコメントを見る(改善状況のコメントがあります!)	(事業者情報のうち評価結果に対する事業者コメントにリンクします)

外部評価の結果

講評
全体を通して特に良いと思われる点など(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・吉井川の土手に近く、幹線道路より一歩中に入った住宅地の中にホームはある。近くには、「裸祭り」で有名な西大寺観音院があり、そのほか医療施設や商業施設、銀行等が周辺にあり、利便性があり、且つ静かな環境の中で入居者は暮らしている。 ・入居者の個性を大切に、今までと変わらぬ生活が続けられることを願い、これからの人生をゆっくりに歩んでほしいとの思いで日々支援している。 ・職員はいつも笑顔を保ち、ていねいでゆったりとした態度で入居者に接しており、その謙虚さは入居者に「信頼と安心」を感じさせ、入居者の穏やかな生活へとつながっている。 ・食事は手作りを第一とし、糖尿病の方にも美味しく食事を摂ってもらえるよう量の加減にも工夫し、入居者の咀嚼状態を見ながらその時々で副菜を細かくしたりと、毎日食事を美味しく摂ってもらうことを大切にし、「食べる楽しみ」を入居者に感じてもらうように心がけている。 ・四季の移り変わりを感じながら楽しみのある生活となるよう、夏祭りやクリスマス会、花見や餅つき、初詣などの行事を数多く行っており、家族や地域の方々の参加も多い。また、毎年、入居者と家族、職員が一泊旅行を実施しており、「こんなに笑ったのは久しぶり」との家族の声も聞かれ、楽しい思い出作りを行っている。
特に改善の余地があると思われる点(記述)
<ul style="list-style-type: none"> ・特に改善を要する点はない。 ・今後も、入居者の気持ちに寄り添った介護を提供していけることを期待する。提案として、介護計画の具体的な実施内容を日々の記録の中に織り込むような記述を検討されれば、次のプランへの反映内容も明確になり、より良い介護計画となるのではと思う。

I 運営理念

番号	項目	できている	要改善
1	理念の具体化、実現及び共有	○	
記述項目	グループホームとしてめざしているものは何か(記述) <ul style="list-style-type: none"> ・「いつまでも笑顔でその人らしく幸せに」を理念としており、入居者が今までの生活を大切にしながら、それぞれの個性を活かした暮らしができ、これからの人生をゆっくりに歩んでいけるような支援をめざしている。 ・ホーム長が看護職であり、日頃より入居者の体調の変化には十分な配慮がなされている。また、協力医療機関との連携体制も充分取られており、入居者の健康・医療面での安心と安全の提供に努めている。 ・様々な行事の実践や外出の機会を出来るだけ多く取り、日常生活の中で家族や地域の方々との触れ合いを感じることのできる支援を心がけている。 ・毎食手作りの美味しい食事を提供し、調理中の匂いや音などの「過程」を感じてもらおうと共に、「食べる楽しみ」を入居者に提供出来るように心がけている。 		

II 生活空間づくり

番号	項目	できている	要改善
2	家庭的な共用空間作り	○	
3	入居者一人ひとりに合わせた居室の空間づくり	○	
4	建物の外回りや空間の活用	○	
5	場所間違い等の防止策	○	
記述項目	入居者が落ち着いて生活できるような場づくりとして取り組んでいるものは何か(記述) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者それぞれの生活パターンを大切にしておき、入居者の意向を確認しながら自身のペースで出来ることはしてもらい、そっと手を添えるような対応に努め、不安やストレスを感じず、安心して暮らしてもらえるように心がけている。 ・人の気配を感じながら独りでゆっくりとくつろげるよう、リビング以外の場所にもソファを置き、入居者が居室で過ごしている時には、入居者が独りで過ごす時間を大切にし、職員は見守るようにしている。 ・職員は笑顔で、ていねいな言葉使いとゆったりとした対応を心がけており、入居者が穏やかで落ち着いた生活が送れるように日頃より配慮している。 		

III ケアサービス

番号	項目	できている	要改善
6	介護計画への入居者・家族の意見の反映	○	
7	個別の記録	○	
8	確実な申し送り・情報伝達	○	
9	チームケアのための会議	○	
10	入居者一人ひとりの尊重	○	
11	職員の穏やかな態度と入居者が感情表現できる働きかけ	○	
12	入居者のペースの尊重	○	
13	入居者の自己決定や希望の表出への支援	○	
14	一人でできることへの配慮	○	
15	入居者一人ひとりに合わせた調理方法・盛り付けの工夫	○	
16	食事を楽しむことのできる支援	○	
17	排泄パターンに応じた個別の排泄支援	○	

III ケアサービス(つづき)

番号	項目	できている	要改善
18	排泄時の不安や羞恥心等への配慮	○	
19	入居者一人ひとりの入浴可否の見極めと希望にあわせた入浴支援	○	
20	プライドを大切にされた整容の支援	○	
21	安眠の支援	○	
22	金銭管理と買い物の支援	○	
23	認知症の人の受診に理解と配慮のある医療機関、入院受け入れ医療機関の確保	○	
24	身体機能の維持	○	
25	トラブルへの対応	○	
26	口腔内の清潔保持	○	
27	身体状態の変化や異常の早期発見・対応	○	
28	服薬の支援	○	
29	ホームに閉じこもらない生活の支援	○	
30	家族の訪問支援	○	
記述項目	一人ひとりの力と経験の尊重やプライバシー保護のため取り組んでいるものは何か(記述) <ul style="list-style-type: none"> ・入居者の生活歴や経験を、日常生活の中で役割として活かせるように配慮している。編み物をする方、俳句を作る方、下膳やテーブル拭き、居室の掃除等、職員は入居者の意思を尊重しながら楽しく喜びを感じてもらえる支援に努めている。 ・入居者の居室に入る時は、ドアをノックしてから入るように心がけている。また、個人記録に他の入居者の名前を書く場合はイニシャルで記入する等、プライバシーに配慮した対応を心がけている。 ・個別の書類は、スタッフルームの鍵のかかるロッカーに保管して管理している。面会簿は個人別にして、職員が個々に記入をお願いする等、個人情報の保護に努めている。 		

IV 運営体制

番号	項目	できている	要改善
31	責任者の協働と職員の意見の反映	○	
32	災害対策	○	
33	家族の意見や要望を引き出す働きかけ	○	
34	家族への日常の様子に関する情報提供	○	
35	運営推進会議を活かした取組	○	
36	地域との連携と交流促進	○	
37	ホーム機能の地域への還元	○	
記述項目	サービスの質の向上に向け日頃から、また、問題発生を契機として、努力しているものは何か(記述) <ul style="list-style-type: none"> ・職員は、介護資質の向上に意欲的に取り組んでおり、研修へ参加した時は全体ミーティングで発表し、再確認と共に情報の共有化を図り、ホーム全体で介護水準を高めるように努めている。 ・事故発生時には、すぐに職員が集まって話し合い、その原因を探り、今後の対策を検討して再発防止を心がけ、入居者の安全・安心な生活を支えている。 ・家族や地域の方との関わりを大切にし、入居者が地域の一員として地域の方との交流を深め、入居者一人ひとりが地域とつながりながら暮らし続けられるように支援している。 		